

外国人児童生徒等教育研修

日本語基礎の指導

社会との関わりを重視した日本語指導
—『中学生のにはんご 学校生活編』を例に—

一橋大学国際教育交流センター

志村ゆかり

社会との関わりを重視した日本語指導

流れ

1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

☞ 形容詞の導入と練習を例に

2 子どもの日本語指導のポイント

☞ 『中学生のにはんご 学校生活編』を例に

1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

「日本語」「ベトナム語」「英語」といった捉え方

生きるためのことば（日本語）

人間関係をつくる

自分を表現する

社会に参加する

+

（成長過程）認知発達に影響する

（成長過程）言語形成期を考慮する

複言語・複文化

バイリンガル
母語・継承語

1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

認知発達の4つの段階 ジャン・ピアジェ

引用文献(1)

1 感覚運動期 : 出生から1歳半~2歳

2 前操作期 : 1歳半~2歳から7歳

3 具体的操作期 : 7歳から11歳

4 形式的操作期 : 12歳から成人



1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

中島和子引用文献(2)

言語形成期 前半				後半	
年齢	0～2	2～4	4～6	6～9	9～15
時代	ゆりかご	子ども部屋	遊び友達	学校友達前半	学校友達後半

学校友達時代前半：話しことばが固まり、読み書きの基礎ができる

学校友達時代後半：自立心が旺盛、抽象的な内容も読める、ことばの分析力も急速に伸び、文化差の理解や比較ができる

1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

【学び】

小学校中学年くらいまで: 具体的

小学校中学年以降: 抽象的・分析的



個人差がある

【心】

思春期にある



アイデンティティー
母語・母文化
友人・将来
親への思い etc.

1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

形容詞の導入と練習を例に

大人の場合（※あくまで一例です。）

導入 この傘は赤いです。この傘は青いです。

形 -は-です / -は-くないです

練習 はい・いいえ形式 / オープン形式

語彙導入 対義語リストなども有効

形容詞という概念もある。

物事を抽象化、一般化し、俯瞰することができる。

☞形や語彙を導入したのち、パターン練習などで正確性を高めてから、活動に入るといったことが可能。

1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

形容詞の導入と練習を例に

こどもの場合

形容詞という概念を持っているか

物事を抽象化、一般化し、俯瞰することは発達段階にある。

☞形や語彙を導入したのち、パターン練習などで正確性を高めてから、活動に入るといったことが難しい。

☞子どもは文脈から物事を推測し、学ぶ力を持っている。

(それを楽しむ)

1 成人の日本語指導と子どもの日本語指導の違い

形容詞の導入と練習を例に

こどもの場合（※あくまで一例です。）

イラストや会話を利用する。（支援者作成）

（道で）

A: あそこに白いねこがいるよ。

B: え? どこ? .. わあ♡ あ.. となりに黒いねこがいる..

私、黒いねこ、きれい..

A: そうなんだ。私は黒いねこが好き。かっこいいよ。

☞その後、子どもにどちらが好きか聞くなどする→さりげなく絵カードなどを利用して、小さい犬と大きい犬とどっちが好き? など、子ども本人に近づけた話題でQAして、語彙を入れる。→Aさんのかばんは大きいですか? など‘はい、いいえ形式’の質問をしていく。

2子どもの日本語指導のポイント

☞子どもは**文脈**から物事を**推測**し、**学ぶ力**を持っている。
(それを楽しむ)

文脈:時・場所・相手・場面・話の流れ

いつ・どこで・だれに・どんなとき、どんなふうに

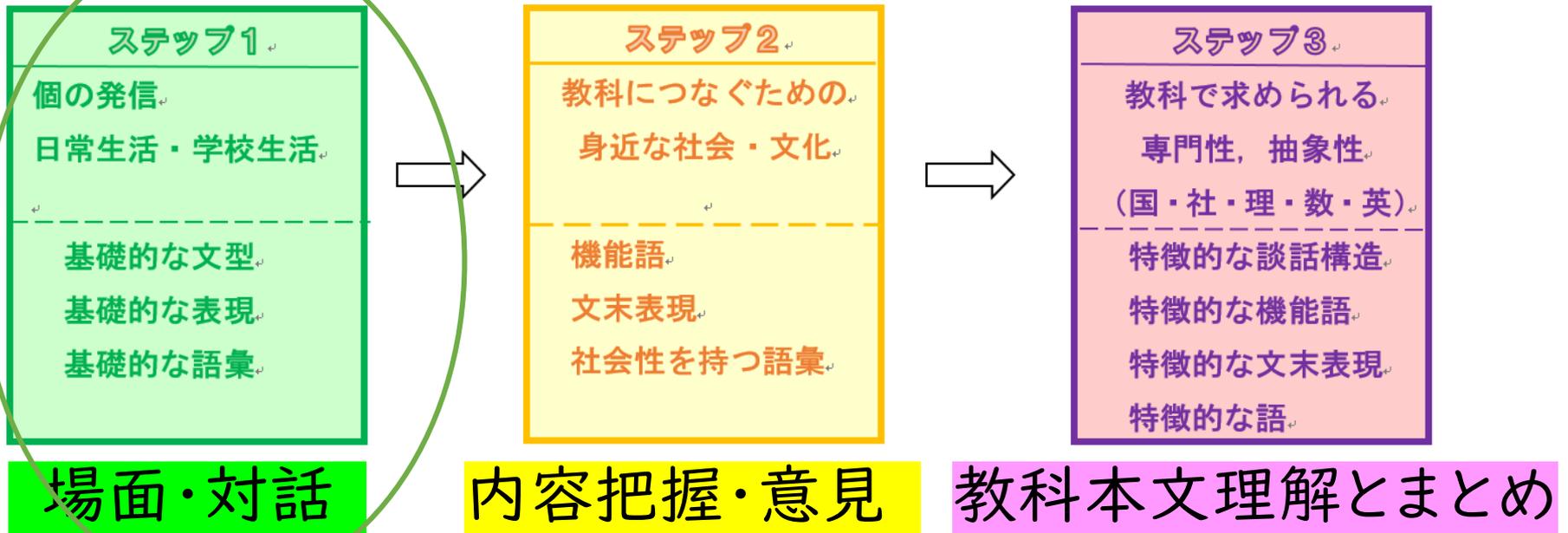
練習:小学校中学年くらいまでは具体的に

小学校中学年以降は抽象的・分析的に理解可能

2子どもの日本語指導のポイント

『中学生のにはんご』の3段階

参考文献(3)



文脈で学ぶ・リテラシー重視

2子どもの日本語指導のポイント

ステップ1「学校生活編」

生徒たちの生活場面から
生きた日本語を意識する
(隠れて計画的に文型や
語彙を提示)

目次	
指導・支援をされる方へ	(5)
学習項目一覧	(8)
0 教室の言葉	1
1 初めまして	2
2 学校とその周辺	14
3 毎日の生活 (1)	24
4 毎日の生活 (2)	34
5 学校生活 (1)	46
6 学校生活 (2)	60
7 部活	71
8 テストの準備	83
9 外出	93
10 学校行事	104
11 病欠欠席	114
12 夏休みの予定	124
13 夏休みの一日	136
14 遠足・修学旅行	148
15 職場体験	160
16 トラブル	171
17 文化祭	181
18 卒業式	192
解答	204

2子どもの日本語指導のポイント

ステップ2「社会生活編」目次とシラバス

文化(現代・地域・異)

教養(環境・言語・健康等)

学校生活(公的)

目次

指導・支援をされる方へ.....(5)

学習項目一覧.....(9)

1部 身近な出来事について知ろう 2部 いろいろな出来事について考えてみよう

1課 ポップカルチャー.....1	9課 役割分担.....74
2課 ことわざを知っている?.....10	10課 地震.....82
3課 おにぎり.....19	11課 手話の世界.....90
4課 健康.....29	12課 環境問題.....99
5課 「ゆるキャラ」って何?.....37	13課 入試の面接.....107
6課 笑顔の秘密.....47	14課 職場体験(1) 電話をかける.....116
7課 世界のこと.....56	15課 職場体験(2) お礼状を書く.....124
8課 スピーチをしよう!.....64	16課 日本語の多様性.....133

解答.....141

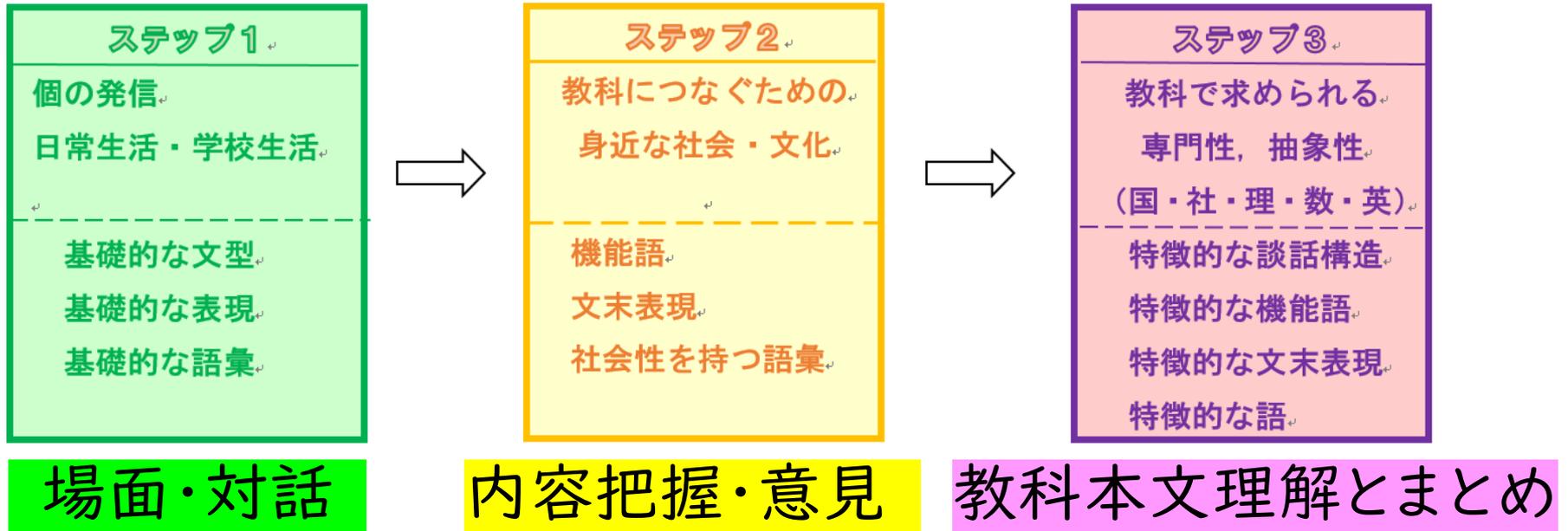
学習項目一覧

課(テーマ)	本文トピック	文法
1課 ポップカルチャー	1 ポップカルチャーって何?	1) -と思う 2) -を中心に
	2 カラオケ	3) -し、-し 4) -向け(の)
	3 ゲーム	5) -ないで
2課 ことわざを知っている?	1 井の中の蛙、大海を知らず	1) -という
	2 花より団子	2) -と 3) -ものだ
	3 うそつきは泥棒のはじまり	4) -のように/-のような+ [名詞] 5) -かもしれない 6) -に対して
3課 おにぎり	1 おにぎりの歴史	1) -といえば 2) -のだ
	2 おにぎりを作ってみよう	3) -にくい/-やすい 4) -というのは-という意味だ
	3 どこで食べる?	5) -ようだ 6) -なければならない/ -なければいけない 7) -べきだ
4課 健康	1 健康な体を作る -食生活を考えよう	1) -たびに 2) -について
	2 体を守る -ばい菌がいっぱい	3) -によると 4) -とともに
	3 体のリズムを作る	5) -によって

2子どもの日本語指導のポイント

『中学生のにはんご』の3段階

参考文献(3)



文脈で学ぶ・リテラシー重視

2子どもの日本語指導のポイント

現場から見たこと

彼らの目線で捉え、彼らの学ぶ力を信じる姿勢が大切

寝たり寝たり寝たりします!

陳は井の中の蛙!

8時間寝ても眠い?
私はいつも9時間寝る..

ぼくは1000さい!

自由な発想で楽しむ

ウケを狙う

立ち止まる

2子どもの日本語指導のポイント

子どもたちの考える力が育った。

諦めず、最後までがんばる姿勢が育った。



2017年 横浜吉田中学校 国際教室担当教員談

2子どもの日本語指導のポイント

☞子どもは**文脈**から物事を**推測**し、**学ぶ力**を持っている。
(それを楽しむ)

文脈:時・場所・相手・場面・話の流れ

いつ・どこで・だれに・どんなとき、どんなふうに

練習:小学校中学年くらいまでは具体的に

小学校中学年以降は抽象的・分析的に理解可能

引用文献

(1) 『思春期—その行動と発達のすべて』 監訳:林謙治 メディサイエンス社

(2) 『完全改訂版 バイリンガル教育の方法 12歳までに親と教師ができること』
著者:中島和子 アルク